

児童発達支援評価表 (従事者向け)

○本評価は、児童発達支援事業所「こぼる」が、事業所の自己評価をするものです。

公表:令和7年12月26日(金)

チェック項目		は い	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		玄関が狭いため、順番に入るなど安全面に気を付けています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		個別・小集団につき1名職員を配置しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		使わないものは片づけて環境整備をしています。絵カードを活用して、どこに何があるかわかるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃をして、清潔が保てるよう、心地よく過ごせるように気を付けています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	カームダウンスペースが必要な時はテントを活用しています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか。	5		支援者会議を定期的に行い、目標に向けてどのように取り組んでいるのか、うまくいかない点は振り返り、改善していくようにしています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		10月に保護者向けアンケートを実施しました。保護者等の意向を、来年度に行かせるように検討しています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日子供の様子や気付いたことを報告し合い、職員同士で意見を伝え合う機会を作っています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	令和7年度は立ち上げだったため実施していません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講するの機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月こぼる内で研修を行うとともに、小平市の研修・外部の研修にも参加できるようにしています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPで公開しています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	5		アセスメント・保護者との面談を行い、個別支援計画を作成しています。
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援計画作成に当たっては、支援者会議を開き、保育士・指導員がお子様の様子を伝え合い、よりよい支援につながるように検討しています。
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員全員が連携して、計画に沿った支援を行っています。

	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		職員が共通したアセスメントシートを活用して、お子様の様子の変化を定期的に確認しています。
	チェック項目	は い	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
適切な支援の提供	16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	3	ガイドラインに沿って支援を実施しています。「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」については、今後実施していくように検討しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動プログラムは、支援者会議や日々の報告の中で、どのようなプログラムがよいか話し合い、検討しています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎月季節に合わせて季節あそび(水遊び・自然遊びなど)や制作を行ったり、2か月ごとに準備運動の曲を変えたりしています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		お子様の発達段階を考慮しながら小集団での活動を取り入れています。その際は、個別活動と集団活動を組み合わせて個別支援計画を作成して支援を行っています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼で、その日の支援の内容や役割分担を確認して、チームで支援にあたっています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後、その日のお子様の様子や気になったことなどを、職員で共有しています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGや業務日誌を活用して、情報を共有しながら、よりよい支援を目指して改善点を探っています。
	23 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見通しを行っているか。	5		定期的に、お子様の様子に合わせてモニタリングを行い、個別支援計画を見直しています。
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を良く理解した者が参画しているか。	5		お子様の状況を普段から報告し合い、必要な時には自発管が支援に参加しています。参加者はお子様の状況を理解して、会議に参加しています。
関係機関や保護者との連携関係機関	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		子家センや協力医療機関、役所(保育・教育)など、必要に応じて連携を行っています。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	利用のお子様の通っている園と連絡を取り合い、お子様の様子や気付いたこと、行っている支援など、情報共有を行っています。移行(就学)に向けた支援は、就学相談・通っている園とより連携していくよう検討していきます。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5	令和7年度は立ち上げだったためまだ実施していません。こげらシートの作成は行っています。
	(28~30は、センターのみ回答)			

や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等への積極的に参加しているか。			
チェック項目		は い	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	児童発達支援センターと連携をしています。今後、スーパーバイズなどでより密接に連携していきたいと考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中での他のこどもと活動する機会があるか。	5		小平みどりこども園の園庭で園児と一緒に遊ぶなどの機会を設けました。通園型のため、幼稚園のクラスに入って他のお子様との交流の様子を見るなどありました。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		HUGを活用してお子様の様子をお伝えするとともに、必要に応じて面談を行っています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	令和7年度は立ち上げだったため情報提供のみ行いました。今後家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会を作っていくよう検討しています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時、説明を行っています。
	36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		契約時やモニタリング時に、保護者の方やお子様の意向を確認して、その上で個別支援計画を作成します。
	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	5		契約時やモニタリング時に、内容を説明します。付け加えることがないか確認の上、同意をいただいています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者の方がお困りの際は、面談や電話での相談などを行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	令和7年度は立ち上げだったためまだ実施していません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談をご希望の際は、日程調整の上、面談等を行っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HPやSNS・コドモンなどを通じて、部屋の様子や遊び・制作などについて発信しています。さらに発信できるようにしていきます。
	42	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取り扱いは職員間で研修を行い、十分に気を付けて行っています。

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	より伝わりやすい方法で伝えるとともに、確認をしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	令和7年度立ち上げのためまだ実施していません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	マニュアルを策定しました。相談室でいつでも閲覧することができます。令和7年度立ち上げのため訓練等は随時実施していく予定です。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	マニュアルを策定しました。相談室でいつでも閲覧することができます。令和7年度立ち上げのため訓練等は随時実施していく予定です。
チェック項目		は い	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1 契約前に健康上留意する点を確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1 食事の提供は行いませんが、教材教具においてもアレルギー等がある場合は対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	マニュアルを策定しました。相談室でいつでも閲覧することができます。令和7年度立ち上げのため訓練等は随時実施していく予定です。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		5 令和7年度立ち上げのため周知が十分に実施できませんでした。今後は取り組み内容の周知に努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1 指導の中であったヒヤリハットを共有しています。共有の上で、対策が必要なものは職員で再発防止に向けて話し合っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	虐待防止についてマニュアルを策定し、定期的に研修を行っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	5	身体拘束についてマニュアルを策定し、定期的に研修を行っています。契約時保護者の方にも説明、了承を得ています。